

海賊対処の第22次派遣部隊がソマリア・アデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第22次隊）出国行事の様相 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第22次派遣水上部隊が、7月5日に佐世保基地(長崎)を出港した。

同部隊は、第5護衛隊司令(豊住太1等海佐)の指揮の下、護衛艦「あきづき」(麻生康晴艦長)及び同「さわぎり」(左藤剛艦長)、乗組員約400名(海上保安官8名同上)により編成され、現地到着次第、第21次派遣部隊の護衛艦「むらさめ」・「いかづち」に代わり、護衛活動を開始することになる。

同基地で行われた出港行事では、中谷防衛大臣(池田徳宏佐世保地方総監代読)及び鮎田英一自衛艦隊司令官(河村正雄護衛艦隊司令官代読)より派遣隊員への訓示などが述べられた。

当協会からは、(株)商船三井 根本専務執行役員、川崎汽船(株) 門野英二専務執行役員他が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

(海務部 小山)

佐世保出国行事



派遣隊員に中谷防衛大臣の訓示を代読する池田佐世保地方総監



派遣隊員に鮎田自衛艦隊司令官の訓示を代読する河村護衛艦隊司令官



当協会を代表して隊員の方々に対し感謝の意を申し述べる(株)商船三井 根本専務執行役員



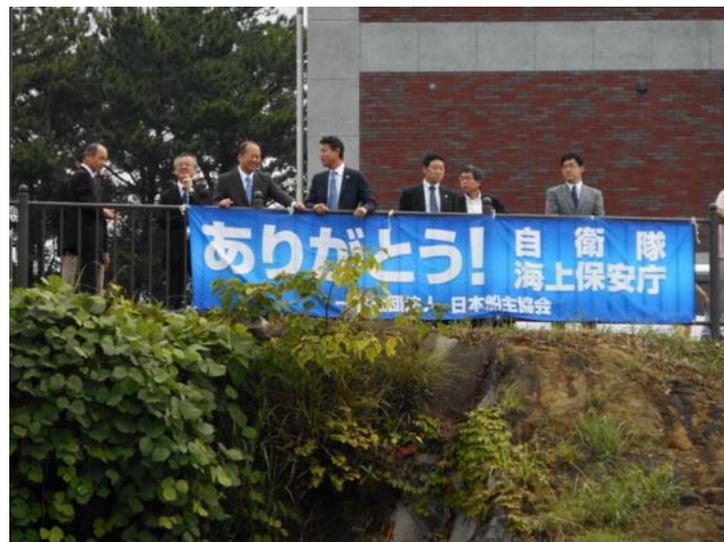
日本船主協会から第5護衛隊司令へ花束贈呈



出港する「あきづき」



出港する「さわぎり」



横断幕を持ち、護衛艦を見送る日本船主協会関係者